

I 資料展『谷川士清～ その生涯と学問』

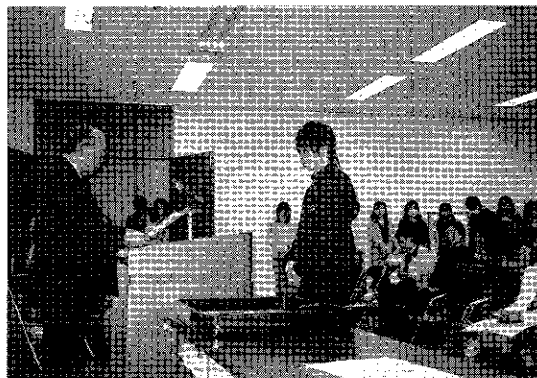
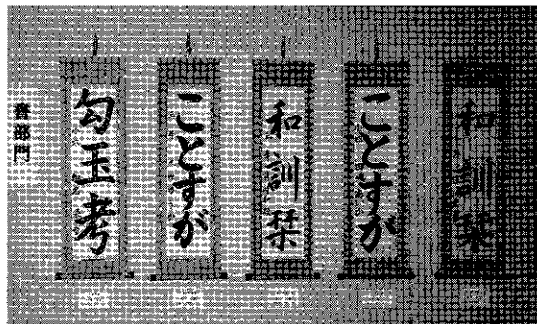
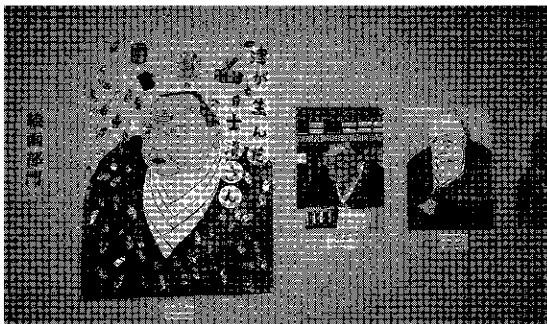
谷川士清の業績を次の5つの視点でとらえて顕彰

3階展示室左奥

- ① 医師・士清—医者家系の逸話『阿漕雲雀』（三重県蔵）
幼少時からの勉学—『素問』『靈枢』に「十二才養順」の書込み（皇學館大学図書館蔵）
木狸庵の額（津市）恒徳堂製剤記（石水博物館蔵）ほか。
- ② 国学者・士清—『日本書紀通證』版本、『和訓栞』版本前編45巻と中編30巻（津市蔵）と
士清自筆稿本『倭訓栞』7冊揃い（但し、曾孫清逸が書き改めたと識語がある）（石水博物館蔵）
（士清の書き入れのある）『万葉集』寛永本（津市津図書館蔵）
- ③ 考古学者・士清—野田出土の銅鐸（レプリカ）『勾玉考』版本（津市蔵）、『雲根志』（石水博物館蔵）に
紹介。
- ④ 文人・士清—家集『恵露草』（石水博物館蔵）京都遊学中の交友や歌道に精進した様子が分かる。
- ⑤ 教育者・士清—洞津谷川塾（私塾）と森蔭社（神道道場）旧宅・反古塚・墓所の紹介（写真・大パネル）
「谷川士清像（門人三井諷画）と自筆の漢詩」（津市蔵）や書簡、従四位追贈の賞状（子孫谷川章氏蔵）。
谷川士清略歴（パネル）その他の展示・工藤誓子さん作「谷川士清像」（津の町展でしろがね賞）
・国道沿いに立つ士清石像（写真）・会場の外壁に、谷川士清の会10年の歩み一覧と写真展示。

II 生誕300年記念作品コンクール優秀作品の展示と表彰式

表彰式は、3月8日（日）午後1時～リージョンプラザ2階の健康教室にて 司会 馬場副代表
挨拶と表彰は川瀬代表。講評は、絵画の部では谷岡経津子顧問が、作文の部では竹内令さんがじっくりと
話され、書の部と短歌の部は司会と事務局で代読した。なお、学校賞（特別賞）が西橋内中学校に贈られた。
展示は：3階展示室中央部に5大賞から特選・入選作品まで壁面いっぱい、書の部・絵画の部・作文の部・
短歌の部と部門別に掲示。作品を出した子と両親や祖父母、友人同士が鑑賞、嬉しそうに確認したりするの
が多かった。短歌の部ではご本人が見に来られた。



絵画の部士清大賞の新町小4年2組代表
湯浅万佑里さんと山本フェアスさん

学校賞（特別賞）をもらう
西橋内中学校 生徒会長 宇野正人さん

演劇「ことすが和訓栞伝」西田久光氏 作・脚本の再演 3/7(土) 8(日) リージョンプラザ3Fホール

劇団津演の方々の熱演と新町小学校の児童たち20人が可愛い子狸になって踊ったり、腹鼓を打ったり…
士清の5代目子孫の方の家族を想定して、「和訓栞」後編出版の頃のご苦労話となっていた。中に、士清が
和訓栞を編纂している姿があり、士清に難産を救われた狸が出てきたりして変化もあった。